

花祭り・春の永代経

平成 20 年 4 月 12 日 (土)、13 日 (日)

光遍寺新聞



第 9 号

発行所

〒638-0315
奈良県吉野郡
天川村沢原 141
浄土真宗 本願寺派
仏照山 光遍寺

電話番号
0747-63-0638
ホームページ
<http://www.kouhenji.org>

今月の法語

人間はみんな裁判官
あんた有罪
わしや無罪



ハッピーバースデー お釈迦さん



平成二十年四月十二日
(土)午前十時から、仏教壮
年会の主催により花祭りが
開催されます。

花祭りとは？

正式には灌仏会(かんぶつ
え)といい、お釈迦様の誕生
日をお祝いする行事です。
本来、毎年四月八日に行わ
れるのですが、光遍寺では春
の永代経法要の午前中に行
います。

なぜ甘茶をかける？

花祭り恒例の行事として
お釈迦様の像に甘茶をかけ
ます。これは、お釈迦様が
生まれたときの様子を再現し
ているのです。

お釈迦様は生まれた直後
に周囲を見わたし七歩ある

いて右手を天に指し左手を
大地に向けて「天上天下唯
我独尊(てんじょうてんげ
ゆいがどくそん)と言ったと
か。その時天竜が天から下っ
て甘い露を准(そそ)いだ、と
いう説話が元になっています。



七歩あるいた？

生まれた直後に七歩ある
くなんて信じられません。
実は、お釈迦様が迷いの六道
(地獄・餓鬼・畜生・人間・修
羅・天上)を越える道を開い
たということを表現している
のです。

天上天下唯我独尊？

文字通り訳しますと、
「宇宙の中で私だけが尊い」
と非常に傲慢に聞こえる言
葉となります。この言葉の本
当の意味は、「人間一人ひと
りが宇宙にただ一つしかない

命をいただいている尊い存在
だ」という意味です。

ひとりでも多くの

お参りを

花祭りは子供中心の行事
という感じがしますが、決し
て子供だけの行事ではあり
ません。老若男女問わず大
勢でお祝いし、感謝するもの
です。当日は仏教婦人会の
方々が、おいしいチラシ寿司
をご用意してくださいます
ので、お誘い合わせの上、お
参りください。

春の永代経

花祭りに続き、光遍寺本堂
におきまして春の永代経法要が
勤まります。昼座は午後二時
から、夜座は午後七時三分
からとなります。

布教使の先生は、簾の光圓寺
前住職であり、本願寺派布教
使であられる神田光憲先生で
す。ペテランの布教使さんですの
で心に響くご法話を聞かせてい
ただけるとと思います。

浄土真宗の修行は、ただただ
聞法です。この機会を逃さず、
亡き人をご縁として、仏法に触
れていただきたいです。忙しいと
は心を亡くすと書きます。普
段の忙しさを減らした心
を取り戻してみませんか？
お誘い合わせの上お参りくだ
さい。

お気づきですか？ 前号(第8号)から、光遍寺新聞が見違えるほど
きれいに印刷されていることにお気づきでしょうか。これは、前回から
(有)まるい印刷【大阪市住吉区 社長：冢瀬太个史様】に印刷して
いただいているからです。まるい印刷様には、光遍寺新聞の趣旨を
ご理解いただき、とても商売にはならない印刷を引き受けていただき
ました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

阿弥ちゃん!!

御仏前は
仏様の方に向けて
は置きません
お仏壇
お供えしてくれ
たんか...

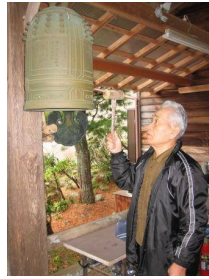
自分自身が
気持ちの表れとして
お供えするのは
お仏壇
御仏前

はい
91点
テスト

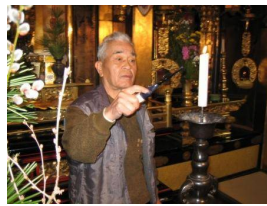
16
点
でしょ(怒)!

半鐘名人

半鐘とは、お勤めが始まる合図に使われる鐘で、その独特のたたき方は非常に難しいものです。その半鐘を法要のたびごとに、たたいてくださっているのが中西秀彦さんです。



中西さんも最初から上手にたたけたわけではなく、本願寺の半鐘の音を繰り返し聞き、自宅で分厚い板をたたいて練習されたそうです。その努力が実り、現在では布教使さんも感心する半鐘名人となりました。しかし、中西さんは現状に満足することなく、さらに参拝者の心に染み込む響きを目指して練習されています。



さらに、中西さんは内陣のお荘厳も一手に引き受けてくださっており、法要の際は活躍して下さいます。

ちょこっと ほうわ

重症複合免疫不全症という病気で苦しんでいる四歳の娘さんの事が、マスコミで紹介されました。

多くの人から輸血の申し出があり、善意を受けましたが、残念にも亡くなりました。父親の言葉が、「この度娘の友美のために、名も知らないたくさんの方から、つきせぬ励ましと、心暖まる援助をいただきました。私はこれまで、自分のことしか考えたことのない人間でした。人の苦しみ悲しみにも心を向けたことのない人間でした。今度のことで、亡くなった娘が『お父さん、お母さん、どうか思いやりのある、あたたかい、美しい心を持って生きていって下さい』と教えてくれました。今までのあり方を恥ずかしく思います。娘に教えられた生き方をします」でした。

悲しみは消えませんが、その悲しみが転じられていく世界があります。この父親の場合、娘さんが善知識（真実へと導く存在）となり、目覚められたのですね。



門信徒 広場

浄土真宗の開祖、親鸞聖人は、実際どのようなお姿だったのでしょうか？当然写真などはありませんが、聖人の肖像画が三種類残されており、そこから聖人のお姿を想像することはできます。

「鏡御影（かがみのごえい）」（西本願寺蔵、国宝）

紙本（和紙）に墨線で描かれている。聖人の壮年時代のお姿で、眼光是厳しさの中にやさしさが感じられる。その視線と口もとは今にも我々に話しかけてくださるような生き生きとした感をもつ。親鸞聖人のお姿を鏡に映したように描かれているので、「鏡御影」と呼ばれている。聖人生存中に描かれたもの（寿像といひます）である。

「安城御影（あんじょうのごえい）」（西本願寺蔵、国宝）

聖人が老境にはいられてからのお姿である。うそぶきの御影ともいわれ、口をとがらかしたお顔は印象的だ。狸皮の敷物の上に座し、桑の木の二股になった枝を縛って作られた杖と猫皮の草履、そして手焙り用の火桶が添えられている。三河国（愛知県）安城に伝来したため、「安城御影」と呼ばれている。聖人生存中に描かれたもの（寿像）である。

「熊皮御影（くまがわのごえい）」（奈良国立博物館蔵、重要文化財）

聖人は首に帽子を巻き袈裟を着け、両手で数珠をまさぐる姿で、上畳に敷いた熊皮の敷物の上に座しておられるのでそのように呼ばれている。安城の御影が杖のほかには火桶と草履を置くが、本図にこれはない。聖人の没後、「鏡御影」と「安城御影」を参考にして描かれたと言われる。

猫皮の草履とか熊皮の敷物といひますと、違和感を覚える方もいるのではないかと思います。しかし、このような道具が描かれているのは、親鸞聖人の生活感を後世の人々に伝えるためにわざわざ描かれたものだと思います。聖人が慕う人々にとって聖人は、けっして人の高見に立つような高僧ではなかったのです。猫皮の草履を引っかけて、熊皮の敷物を腰に巻きどこへでも訪ねてくる気さくなお坊さんだったのです。しかし、聖人の口から発せられた仏教のみ教えは、人々の身に染みわたりました。聖人ご自身も、肖像画を描かせるにあたってご門徒からいただいた布教活動の必需品をともに描いてもらったのではないかと思います。私たちが、聖人のお姿を偲ぶことのできる、ほんのわずかな資料の中に、浄土真宗のみ教えの神髄を見たような気がします。

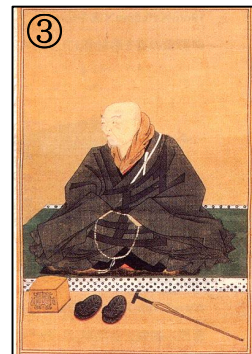
さて、ここで問題です。次の①～③のうち、「鏡御影」、「安城御影」、「熊皮御影」はそれぞれどれでしょうか？上の説明文をヒントに考えてください。正解が分かった方は、光遍寺までご連絡ください。先着5名様記念品をご用意しています。



お顔の拡大



お顔の拡大



お顔の拡大